

緑川ダムでは洪水調節（防災操作）を開始しました

■緑川ダムでは、平成27年6月11日10時37分から川の増水によるダム下流への影響を緩和するため、ダムに水を貯めて、流れ込む水量より少ない量を流す洪水調節※1（防災操作）を開始しました。

●梅雨前線の影響により、11日10時00分現在の緑川ダム上流域の平均累加雨量は、約235mmです。（6月8日3時～6月11日10時）

緑川ダムでは、6月8日14時30分頃からダムの洪水貯留容量を確保・維持するため、ダムに流れてくる水量（流入量）と同じ水量を下流へ流していたところです。

●11日10時37分頃には、流入量が毎秒500立方メートルに達しましたので、川の増水によるダム下流への影響を緩和するため、ダムに流れ込む水を貯めて流入量より少ない量を下流へ流す洪水調節（防災操作）を開始しました。

●洪水調節（防災操作）により、流入量を超える水量を下流に流すことはありませんが、今後流入量の増加によっては、ダムから流す水量も増加し川の水位が上昇することがあります。

今後も川やダム、気象情報に十分注意して下さい。

※1洪水調節とは：ダムに流れ込んでくる水量の一部を貯水池内に貯め、ダムの下流に流す水の量を少なくすることです。緑川ダムでは、流入量が毎秒500立方メートルに達した時に開始します。

例えばダムに流れ込む水量が毎秒2,800立方メートルの場合、ダムの下流へは2,000立方メートル流して、残りの毎秒800立方メートルを貯水池内に貯め込む操作になります。

<問合せ先>

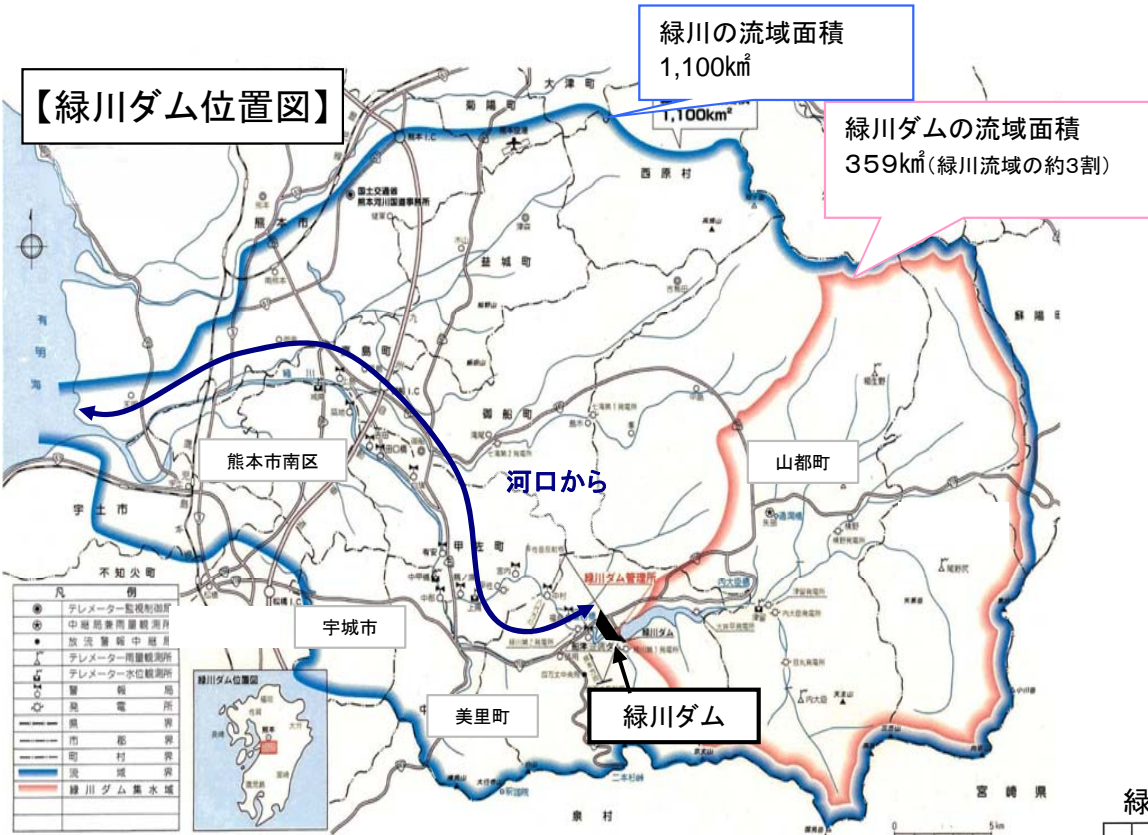
国土交通省 緑川ダム管理所

TEL：0964-48-0216

専門官 岩崎 靖生

洪水に関する記者発表資料《参考資料》

【緑川ダム位置図】



【緑川ダム写真】



■ダム諸元

	主ダム	脇ダム
型式	重力式コンクリートダム	中央土質心壁型フィルタタイプダム
堤高	76.5m	35.0m
堤長	295.3m	244.0m
堤体積	367,400m ³	347,000m ³
堤体標高	EL.182.00m	EL.184.00m
堤頂路面幅員	5.5m	10.0m
上流面勾配	1:0.08	1:3.00
下流面勾配	1:0.78	1:2.50

■貯水池諸元

集水面積	359km ²	洪水時満水位	EL.180.00m
堪水面積	1.81km ²	常時満水位	EL.177.00m
総貯水容量	46,000,000m ³	第1期制限水位 (6月11日～7月20日)	EL.170.00m
有効貯水容量	35,200,000m ³	第2期制限水位 (8月1日～9月30日)	EL.163.30m
洪水調節容量	24,000,000m ³	第3期制限水位 (10月1日～10月15日)	EL.174.00m
発電容量	30,000,000m ³	堆砂位	EL.150.70m
かんがい容量	10,000,000m ³	計画高水流量	2,800m ³ /s
堆砂容量	10,800,000m ³	放流量	2,000m ³ /s

緑川ダム制限水位図

